

令和7年8月19日(火)、2学年自然科学コースの生徒34名が立山研修に参加しました。

例年、この時期は午後から雨になる確率が高いことから、午後からの室堂山登山の計画を変更し、午前中に室堂山登山をすることとしました。室堂ターミナルまでの車中では、スギをはじめとする植生について説明を受けました。途中、滝見台で称名滝の全貌を見ることができました。

天気にも恵まれ、室堂山登山の途中で、地形班はかつて室堂山に氷河があった痕跡とされる、丸く削られた岩の様子を観察し、過去の立山の様子を想像しました。植物班はハイマツやチングルマなどの高山植物を観察し、低地での植物との違いを発見しました。

午後からは、弥陀ヶ原にて、地形班は平坦地形と火山性地質について詳しく教えていただきました。植物班は、自生する植物についてわかりやすく説明していただきました。各班に分かれて、それぞれ違う池塘の水質調査を実施しました。水質調査はpHの他に硬度や各種イオンについてバックテストを使って測定しました。

その後、天候が悪化し、大観台での研修はできませんでしたが、室堂山と弥陀ヶ原の2つの重点箇所の研修ができたので良い研修となりました。

この研修を通して学んだことを、今後の自然科学コースの活動に生かしてもらいたいです。

